

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	情報システム専門学科	夜・通信	11 単位 (360 時間)	10 単位 (240 時間)	
	情報システム学科	夜・通信	10 単位 (300 時間)	7 単位 (160 時間)	
	マルチメディア専門学科	夜・通信	10 単位 (240 時間)	10 単位 (240 時間)	
	マルチメディア科	夜・通信	単位 (240 時間)	単位 (160 時間)	
	大学併修学科	夜・通信	16 単位 (360 時間)	13 単位 (320 時間)	
(備考) 1. 2025 年度以前の入学者は、「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を()内に記載している。 2. 2026 年4月にマルチメディア科は募集停止のため、授業時数のみ記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページアドレス https://www.nics.ac.jp/disclosure/12_johokoukai.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	新潟情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 理事（役員）名簿の公表方法

希望者には学校備付けの役員名簿を閲覧させる

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2025. 6. 27 ～2 年以内 に終了する 会計年度の うち最終の ものに関す る定時評議 員会の終結 の時まで	経理・財務
非常勤	株式会社役員	2025. 6. 27 ～2 年以内 に終了する 会計年度の うち最終の ものに関す る定時評議 員会の終結 の時まで	法人経営
(備考) 外部理事 総数 2 名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。 新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式 及び 記載項目(科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法を統一したシラバスを3月末までに作成する。 それらのシラバスは、要求に応じて、いつでも閲覧できるよう職員室に設置するとともに、学生には学生用校内 Web サーバを介して公表している。	
授業計画書の公表方法	・希望者には学校備付けの「シラバス」を閲覧させる ・学生には学生用校内 Web サーバで公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 最終評価点に対する成績評価(秀・優・良・可・不可)については、明確な点数基準を定めており、これらについては修学の手引きあるいは学生便覧に明記することで、全学生へ周知している。 なお点数に対する成績評価は次のとおりである。 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校ではG P Aを導入していないものの、5段階の成績評価(秀・優・良・可・不可)を設けることで客観的な指標としており、これらについては修学の手引きあるいは学生便覧に明記することで全学生へ周知している。 また、成績の分布状況については、履修科目の点数(0～100点)の平均に基づいて順位付けを行い、半期毎に通知する成績通知書に対象学科における「学年順位に基づくランク」を記載しており、学生は自身の成績が下位4分の1に入っていないかを把握できるようにしている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページアドレス https://www.nics.ac.jp/disclosure/02_johokoukai.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) <卒業の認定方針> 本校の教育理念及び目標とする人材像に基づき、実践的なI T人材として必要な次の能力を身に付け、学則に定める修業年限以上在籍し、卒業要件を満たした学生に対して卒業を認定する。 ・情報システム開発の知識と技術を修得し問題解決に活用できる ・コミュニケーション力を持ち、他者と協働できる ・倫理観を持って行動できる <実施に係る取組> 卒業認定は、学則及び履修規程に基づき、修業年限以上の在籍及び卒業要件の充足状況を総合的に確認して行う。 単位制を適用する学年については、卒業に必要な単位の修得状況により判定する。時数制を適用する学年については、所定の授業科目の履修及び修了状況により判定する。 各科目の成績評価は、試験、課題、演習成果、授業への取組状況等を踏まえて行い、出席状況とあわせて管理している。 学生の出席状況及び成績評価結果については、半期ごとに学生及び保護者へ通知するとともに、必要に応じて面談や補習等の指導を実施している。 進級及び卒業の認定にあたっては、年度末に進級・卒業判定会議を開催し、学則等に定める基準に基づいて審議を行い、その結果を踏まえて校長が認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページアドレス https://www.nics.ac.jp/disclosure/01_johokoukai.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟情報専門学校
設置者名	学校法人 電子開発学園九州

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	希望者には学校備付けの「貸借対照表」を閲覧させる
収支計算書又は損益計算書	希望者には学校備付けの「収支計算書」を閲覧させる
財産目録	希望者には学校備付けの「財産目録」を閲覧させる
事業報告書	希望者には学校備付けの「事業報告書」を閲覧させる
監事による監査報告（書）	希望者には学校備付けの「監事による監査報告書」を閲覧させる

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報システム専門学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位 (3, 060 単位時間)	64 単位 (1, 766 単位時間)	8 単位 (170 単位時間)	54 単位 (1, 514 単位時間)		
			126 単位 (3, 450 単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		151 人	0 人	6 人	0 人	6 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、2025 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年「教育課程編成委員会」を開催して、授業科目の見直しや新設、廃止を決定している。新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式及び記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法を統一したシラバスを3月末までに作成する。
成績評価の基準・方法
（概要） 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 なお点数に対する成績評価は以下のとおりである。 100～90点：秀 89～80点：優

79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学則に定める修業年限以上在籍すること、②教育課程に定める進級又は卒業に必要な単位を修得することを基準としている。①については在籍状況及び履修状況、②については各授業科目の成績評価に基づく単位修得状況により総合的に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組として、担任、学年主任、コース長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63 人 (100%)	0 人 (0%)	62 人 (98.4%)	1 人 (1.6%)
(主な就職、業界等) I T 業界中心に就職			
(就職指導内容) クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ 保護者会、業界研究セミナー、校内企業説明会などを実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 情報処理安全確保支援士試験(国)、データベーススペシャリスト(国)、応用情報技術者(国)、基本情報技術者(国)、情報セキュリティマネジメント(国)、I T パスポート(国)、オラクル認定Javaプログラマ、SEA/J情報セキュリティ技術認定基礎コース、情報検定、ヤマハネットワーク技術者、P y t h o n 3 エンジニア認定基礎、マイクロソフトオフィススペシャリスト 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169 人	2 人	1.2%
(中途退学の主な理由) 不適応・意欲低下、進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組)
スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	情報システム学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (2,010 単位時間)	47 単位 (1,260 単位時間)	6 単位 (154 単位時間)	23 単位 (656 単位時間)		
			76 単位 (2,070 単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		27 人	0 人	2 人	0 人	2 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、2025 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式 及び 記載項目（科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法）、表現方法を統一したシラバスを3月末までに作成する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 なお点数に対する成績評価は以下のとおりである。 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学則に定める修業年限以上在籍すること、②教育課程に定める進級又は卒業に必要な単位を修得することを基準としている。①については在籍状況及び履修状況、②については各授業科目の成績評価に基づく単位修得状況により総合的に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組として、担任、学年主任、コース長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） I T 業界中心に就職			
（就職指導内容） クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ 保護者会、業界研究セミナー、校内企業説明会などを実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） データベーススペシャリスト(国)、応用情報技術者(国)、基本情報技術者(国)、情報セキュリティマネジメント(国)、I T パスポート(国)、オラクル認定Java プログラマ、SEA/J 情報セキュリティ技術認定 基礎コース、情報検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	1 人	2.9%
（中途退学の主な理由） 不適応・意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	マルチメディア専門 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位 (3,030 単位時間)	48 単位 (1,570 単位時間)	16 単位 (130 単位時間)	43 単位 (1,330 単位時間)		
			107 単位 (3,030 単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
55 人		34 人	0 人	3 人	0 人	3 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、2025 年度以前入学者に適用される単位 時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式 及び 記載項目 (科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法を統一したシラバスを 3 月末までに作成する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 なお点数に対する成績評価は以下のとおりである。 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学則に定める修業年限以上在籍すること、②教育課程に定める進級又は卒業に必要な単位を修得することを基準としている。①については在籍状況及び履修状況、②については各授業科目の成績評価に基づく単位修得状況により総合的に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組として、担任、学年主任、コース長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	1 人 (5.9%)	16 人 (94.1%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） I T 業界中心に就職			
（就職指導内容） クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ 保護者会、業界研究セミナー、校内企業説明会などを実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者(国)、基本情報技術者(国)、情報セキュリティマネジメント(国)、 I T パスポート(国)、CGクリエイター検定、W e b デザイナー検定、アドビ認定プロフェッショナル、SEA/J情報セキュリティ技術認定 基礎コース、情報検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	マルチメディア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	単位 (1, 980 単位時間)	単位 (1, 134 単位時間)	単位 (146 単位時間)	単位 (820 単位時間)		
			単位 (2, 100 単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人		2 人	0 人	1 人	0 人	1 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、2025 年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。2026 年 4 月募集停止のため、単位数は記載していない。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式 及び 記載項目 (科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法を統一したシラバスを 3 月末までに作成する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 なお点数に対する成績評価は以下のとおりである。 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学科所定の年限以上在籍すること、②学科所定の科目を履修すること、としており、①については主に出席状況、②については成績評価状況を基に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組として、担任、学年主任、コース長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (85.7%)	1 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) I T 業界中心に就職			
(就職指導内容) クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ 保護者会、業界研究セミナー、校内企業説明会などを実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 基本情報技術者(国)、CGクリエイター検定、Webデザイナー検定、アドビ認定プロフェッショナル、情報検定 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	大学併修学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	124 単位 (3, 450 単位時間)	88 単位 (2, 194 単位時間)	14 単位 (372 単位時間)	53 単位 (1, 214 単位時間)		
			155 単位 (3, 780 単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		207 人	0 人	8 人	0 人	8 人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、2025 年度以前入学者に適用される単位 時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 新規に実施する授業科目については、別途定める「シラバス作成ガイドライン」に基づき、様式 及び 記載項目 (科目名、時間数、科目概要、学習到達目標、講義計画、使用教材、実習環境、目標資格、成績評価方法)、表現方法を統一したシラバスを3月末までに作成する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学生の出席状況については、授業科目を実施する毎に出席確認を行い記録している。また、試験やレポート等の評価については、各授業科目のシラバスに明記しており、その内容に従って適正な評価を行っている。 なお点数に対する成績評価は以下のとおりである。 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業の認定は、①学則に定める修業年限以上在籍すること、②教育課程に定める進級又は卒業に必要な単位を修得することを基準としている。①については在籍状況及び履修状況、②については各授業科目の成績評価に基づく単位修得状況により総合的に判断する。
学修支援等
(概要) 中途退学への取組として、担任、学年主任、コース長によるフォローと併せ、スクールカウンセラーによる継続的なカウンセリングを受ける機会を設けている。また、様々なハラスメントを防止するため、ハラスメント防止委員会と相談窓口を設置し、学生からの悩みや相談に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66 人 (100%)	0 人 (0%)	64 人 (97.0%)	2 人 (3.0%)
（主な就職、業界等） I T 業界中心に就職			
（就職指導内容） クラス担任と就職指導スタッフが連携して、学生一人ひとりにあった万全の就職サポートで、就職活動を完全にバックアップ 保護者会、業界研究セミナー、校内企業説明会などを実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理安全確保支援士試験(国)、データベーススペシャリスト(国)、応用情報技術者(国)、基本情報技術者(国)、情報セキュリティマネジメント(国)、I T パスポート(国)、オラクル認定Javaプログラマ、SEA/J情報セキュリティ技術認定 基礎コース、ヤマハネットワーク技術者、情報検定、日商簿記、P y t h o n 3 エンジニア認定基礎、マイクロソフトオフィススペシャリスト 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
250 人	13 人	5.2%
（中途退学の主な理由） 不適応・意欲低下、心神耗弱・疾患、進路変更 など		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラーによる面談、補講などの授業フォローアップ、保護者との面談、ハラスメント相談窓口など		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
大学併修学科	100,000 円	438,000 円	346,000 円	
情報システム 専門学科	100,000 円	720,000 円	346,000 円	
マルチメディア 専門学科	100,000 円	720,000 円	346,000 円	
情報システム学科	100,000 円	720,000 円	346,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
学校独自の学費支援制度として、「AO 入試特典(5 万円)」、「指定校推薦入試特典(5 万円)」、「資格取得者特典(1～50 万円)」、「高校既卒者支援(10 万円)」、「同窓子弟特典(10 万円)」、「県外出身者一人暮らし支援(5 万円)」、「JOHO 特待生(10～50 万円)」があり、初年度の学費から減免する。なお、詳細は「学生募集要項」を参照のこと。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nics.ac.jp/common/pdf/00_jikohyouka.pdf		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
第三者評価は実施しておらず、学校関係者評価を実施している。 企業委員(2 名)、卒業生委員(2 名)および地域住民委員(1 名)から構成される委員会が、学校の自己評価結果をもとに、学校運営を評価する。 主な評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献である。その評価結果を教育活動その他の学校運営改善等に生かし、学校運営の客観性と透明性を高めることを目的とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業委員
株式会社役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	企業委員
株式会社役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	卒業生委員
株式会社役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	卒業生委員
町内会役員	2025 年 4 月 1 日 ～2027 年 3 月 31 日	地域住民

第三者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nics.ac.jp/disclosure/09_johokoukai.pdf
(備考)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nics.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H115310000071
学校名 (〇〇大学 等)	新潟情報専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 電子開発学園九州

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		106人（ 51 ）人	104人（ 43 ）人	109人（ 52 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	29人	28人	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅱ区分	18人	14人	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（－）	（－）	
	第Ⅳ区分（理工農）	12人	17人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	15人	－	
	区分外（多子世帯）	22人	25人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				109人（ 52 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	—	0人	—
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	—	—
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	0人	—

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	0人	—
計	11人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。